

「プレスタイル」
BP / 330-15
＜稚内珪藻調湿タイル＞
製品安全データシート

鈴木産業株式会社

「プレスタイル」製品安全データシート (MSDS)

1. 製品販売元業者

会社名 : 鈴木産業株式会社
 所在地 : 〒070-8005
 旭川市神楽5条3丁目2番4号
 電話 : 0166-61-4741
 FAX : 0166-61-8357
 担当部署 : 鈴木産業株式会社 豊富事業所
 作成部署 : 鈴木産業株式会社 豊富事業所
 作成・改定日 : 平成25年7月1日
 商品名 : 「プレスタイル」
 一般名 : 稚内珪藻調湿タイル

2. 製品製造業者

会社名 : 株式会社 Danto (ダントー)
 住所 : 〒103-0007
 東京都中央区日本橋浜町 3-7-2
 電話 : (03) 3664-1731
 FAX : (03) 3664-3198

3. 「プレスタイル」の組成・成分

(1) 物性 : 稚内珪藻土 (稚内層珪藻 (珪質) 頁岩) の粉碎物である天然鉱物の素材を配合し、スメクタイト系粘土等の助剤を混入した原料をプレス成形して、焼成温度約 900 °C (素焼きの温度) で焼成した珪藻質セラミックスタイルである。

(2) 組成成分 : 「プレスタイル」の化学組成分析値

成分		含有率(%)
SiO ₂	二酸化シリカ (珪酸)	78.78
Al ₂ O ₃	酸化アルミニウム	12.50
Fe ₂ O ₃	酸化鉄	2.79
TiO ₂	二酸化チタン	0.43
CaO	酸化カルシウム	0.32
MgO	酸化マグネシウム	0.79
Na ₂ O	酸化ナトリウム	0.78
K ₂ O	酸化カリウム	1.62
ZnO	酸化亜鉛	2.00
Total		100.00

※試験資料による分析平均数値である。(天然鉱物の為、多少の数値変動がある。)

(3) 分析・測定 : 製造業者株式会社 Danto 分析によるデータである。

(4) 官報整理番号 : 該当しない為無し。

(5) 原材料 : 1) 主剤＝天然鉱物
 稚内珪藻土（稚内層珪藻（珪質）頁岩）
 の粉碎物

2) 助剤①粘土－スメクタイト系粘土鉱物
 助剤②酸化金属－酸化亜鉛

1) 主剤： 稚内珪藻土（稚内層珪藻（珪質）頁岩）
 海洋性珪藻プランクトンの遺骸が堆積して出来た珪藻土が地上に隆起する時に生じた地圧と熱的変成を受け、地質的变化を受けて岩石化したページ（頁）状岩石で（正式名称は稚内層珪藻質頁岩又は珪質頁岩と云い、稚内珪藻土は鈴木産業の略称である。）成分は主としてシリカ成分※1である、オパールCT※2・非晶質シリカ・石英などで構成される鉱物質である。

※1

シリカとは二酸化珪素の別名で、化学組成式では SiO_2 で示される様に、珪素（Si）の酸化物であり、酸素との化学結合体である。

温度、圧力により結晶構造が多様であり、代表的な物としては石英（水晶）、鱗珪石（トリディマイト）、クリストバライト等があり、高純度で天然物として産出される物として珪砂、珪石がある。

また、圧力や温度の状態ではオパール状態で産出される。オパールとは蛋白石と言われ化学組成式では $SiO_2 + nH_2O$ と構造中に10%程度の水分子を含む非晶質シリカである。代表的な物としては、オパールA、オパールC、オパールCT※2がある。

※2

(1) オパールCTは、X線回折分析パターンから、クリストバル石(cristobalite)と鱗珪石(tridymite)の不明瞭な回折パターンをもつ結晶質のシリカ鉱物であるが、クリストバル石のような繊維状な形態をとらず、レピスフェア(lepisphere)^{注1}の微粒球体の形態を呈している。

(2) オパールCはX線回折分析および電子顕微鏡観察から、従来のクリストバル石とほぼ同じもと考えられるが、オパールCTの結晶構造はクリストバル石とは明らかに異なり、鱗珪石の結晶構造と不規則に重なり合っており、その結晶外形も明らかに異なっている。

(3) 同一の回折パターンを示す北海道北部の珪質堆積岩のシリカ鉱物は、結晶形態として明瞭なクリストバル石ではなく、クリストバル石の結晶形態とは明瞭に異なる非繊維状のオパールCTであると同定できる。

(首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 地理環境科学専攻
 元教授 福澤仁之 「稚内層珪藻質頁岩（珪質頁岩）」に関する見解
 （平成18年（2006年）5月26日）の記述より抜粋）

注1 レピスフェア：板状のオパールCTが微小球体になつてゐる状態

2) 助剤①－スメクタイト系粘土

膨潤性層状珪酸塩を主成分として含有している可塑性が強い粘土。

スメクタイトとして、八面体型のモンモリロナイトを含有。

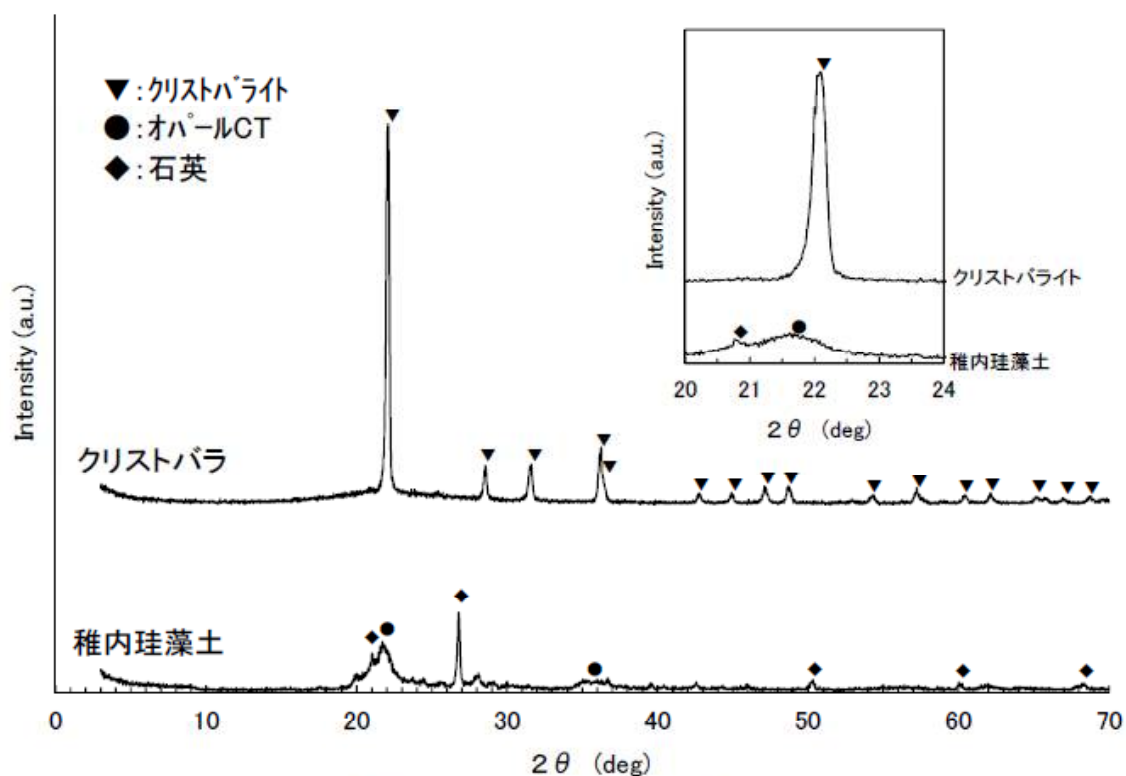
主要構成鉱物であるスメクタイトの有する膨潤性、陽イオン交換能、コロイド形成能あるいは吸着性等の性質を利用して様々な産業分野で利用されている。

助剤②－酸化金属 亜鉛粉末

白色の金属粉末 化学組成式は「 ZnO 」 Cas, No 1314-13-2

(6) 稚内珪藻土（稚内層珪藻（珪質）頁岩）の組成物性（X線回折グラフ）

1) クリストバライトとの比較



稚内珪藻土とクリストバライトとのX線回折比較測定グラフ

上記のX線回折グラフによる稚内珪藻土（稚内層珪層（珪質）頁岩）の波長は非晶質シリカであるオパールCTである事を示し、結晶性シリカであるクリストバライトとでは波長が異なる事を示している。

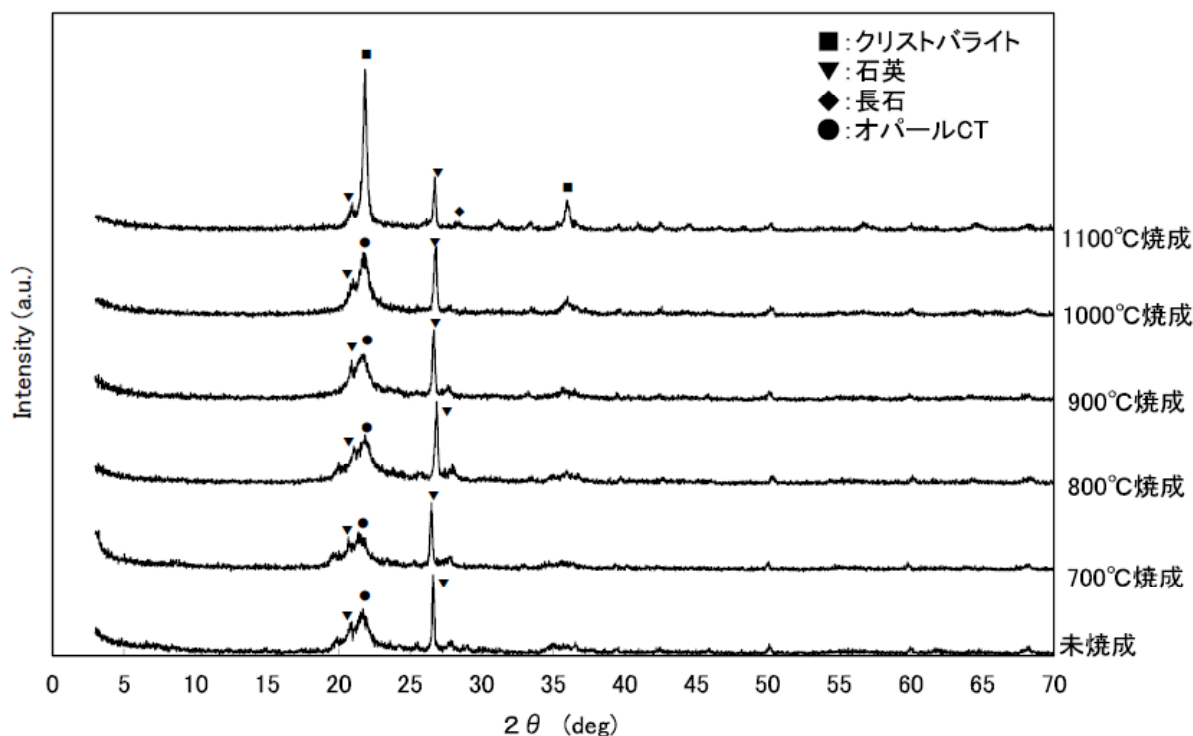
国際がん研究機関（IARC）の報告書（「シリカ」1997）によると、非晶質シリカ（アモルファスシリカ）は毒性が無いグループ3に分類されている。これにより、稚内珪藻土（稚内層珪層（珪質）頁岩）が持つシリカは非晶質シリカであるオパールCTであるため、発ガン性物質には含まれない。

※以下：国際がん研究機関（IARC）の報告書「シリカ」（1997）より抜粋

Amorphous silica
“非晶質シリカ”

Amorphous silica is not classifiable as to its carcinogenicity to humans (Group 3).
“非晶質シリカは人間に対して発癌性として分類されないグループ3である”

2) 焼成温度別に於ける測定



稚内珪藻土 焼成温度別 X線回折(XRD)測定グラフ

上記のグラフの様に、稚内珪藻土（稚内層珪藻（珪質）頁岩）は1000度までの焼成温度までは非晶質シリカの状態を保つが、1100度以上になると結晶性シリカであるクリストバライト化へ変化する。

「プレスタイル」の製造時に於ける焼成温度は900度以内による焼成の為、クリストバライト化へは変化せず、非晶質シリカの状態が保たれている。その為、発がん性物質にはならない。

1) 分析・測定 : 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター（旧：通産省工業技術院名古屋工業技術研究所）との共同研究による、分析、測定データである。

2) 官報整理番号：該当しない為無し。

4. 「プレスタイル」の製品物性

- (1) 焼成物 : 稚内珪藻土（稚内層珪藻（珪質）頁岩）の粉碎物である天然鉱物の素材を配合し、スメクタイト系粘土を混入した原料をプレス成形して、焼成温度約900℃（素焼きの温度）で焼成したセラミックスタイルである。
- (2) 色合い : 焼成による含有酸化鉄分の酸化反応による自然発色のオレンジ色で、焼き色斑がある。
- (3) 形状 : 寸法は 333mm × 333mm × 15mm 等成型後の乾燥、焼成による多少の寸法誤差がある。（形状についてはカタログを参照の事。）

- (4) 膨張・収縮 : 素焼きの温度で焼成したセラミックスである為、吸湿・吸水をするが膨張・収縮は無い。
- (5) 耐腐食性 : セラミックススタイルである為、酸・アルカリに対して耐食し、腐食しない。
- (6) PH値 : 6.7 中性付近。(天然鉱物原料の為、製品により前後のバラツキ有り)

5. 危険・有害性の分類

- (1) 分類の名称 : 分類基準に該当しない。
- (2) 危険性 : 1) 陶器質タイル JIS-A5209 の内装壁タイル規格に準じた曲げ強度を有する。
ぶつかりの衝撃を受けると割れたり角が欠けたり
の破損が起きる。
2) 施工時於いて素手で取り扱った場合、手の皮膚より水分を吸着する為、長時間素手で取り扱っていると手のひらの皮膚が乾燥状態となる。
- (3) 有害性 : 1) 施工時において切断加工する場合、使用する切断機によって量の違いはあるが、切り粉と粉塵が発生する。
特に回転式電動切断機を使用した場合、多量に粉塵が発生する。
2) 切断加工時に発生する粉塵を長時間に渡り多量に吸入した場合、呼吸器への影響が生じる恐れがある。
一時的に吸入の場合、咳、くしゃみが出る。
3) 切断加工時に発生した粉塵が皮膚に付着すると、皮膚が乾燥した状態になる。
4) 切り粉又は破片・粉塵が目に入った場合、異物感、ざらつき感などの物理的刺激を受ける。
- (4) 発がん性 : 非晶質シリカの為、発がん性は無い
- (5) 慢性作用 : 切断時加工時に発生した粉塵を長期間に渡り、大量に吸引すると呼吸器系障害(じん肺)を生じる可能性がある。
- (6) 応急処置 : 1) 施工に当たって製品の取り扱いは手袋を使用し、切断加工時には簡易防塵マスクを着用する。回転式電動切断機を使用する時などは施工環境に応じて保護眼鏡を着用する。
回転式電動切断機の使用については、その切断機の取扱説明書に記載された内容に準じた取り扱いを行う事。

- 2) 切断加工を行った場合、終了後うがい及び手洗いを十分に行う。切断加工が長時間に渡った場合は途中で時々うがい及び手洗いをを行う様にする。
- 3) 切断加工時、一時的に粉塵を吸入し、咳くしゃみが発生した場合、新鮮な空気を吸い、一時安静にする。状況によってはうがいをする。
- 4) 切り粉又は破片・粉塵が眼に入った場合、擦らずに、直ちに大量の流水によって洗い流す。必要に応じて医療機関に相談連絡をする。
- 5) タイルを取り扱った後又は、切断加工後に衣類等に付着した粉塵などは飛散に留意して取り除く。

- (7) 暴露防止処置：
- 1) 体内への吸入経路は呼吸による吸入である。
 - 2) 切断加工作業には、簡易防塵マスク、保護眼鏡を使用し、皮膚の露出度が少ない服装を着用して、皮膚に付着するのを防止しながら切断加工を行う。
 - 3) 切断加工時の粉塵の発生を予防する為、切断加工作業には多量の粉塵を拡散するグラインダーなどの回転電動機の使用は必要時以外控える。
 - 4) 通常の切断加工には、工作用大型のカッターナイフ及び大工鋸又は工作用ボード用の縦引き鋸で切断加工を行う。(施工要領書参照の事)

6. 火災・爆発について

- (1) 不燃性 : セラミックス（焼成物）製品である為、不燃材である。
- (2) 気化性 : 切断加工時の粉塵、破片も不燃であり、気化・ガスの放散はない。
- (3) 消火剤 : 火災の発生時に使用する消火剤による化学反応の発生は起きず、全ての消火剤が使用可能である。

- ## 7. 漏出時の処置
- 1) 表面層
セラミックス（焼成品）タイルである為、漏出の心配はない。
 - 2) 基材層
タイル全体がセラミックス（焼成物）で有る為、漏出の心配はない。

- 8. 取扱い上の注意：**
- 1) 本製品のタイル自体を裸で運搬や取り扱う場合には保護手袋を着用。
 - 2) 回転式電動切断機による切断、加工の時にはその器具取り扱いの安全基準に必ず従う事。その他に簡易防塵マスク、保護眼鏡を着用し、皮膚の露出度が少ない服装によって粉塵が皮膚へ直接付着する事を防ぎ切断作業を行う。
 - 3) 回転式電動切断機による切断加工を行う時は、作業場内の換気を行い、必要に応じて集塵装置を設けて作業を行う。
 - 4) 本製品は割れ物である為、本製品の箱に強い衝撃を与える事や、破損などが起こらない様注意して取扱い、運搬、配送をする。

9. 環境衛生情報

- VOCの放散性
- 1) 本製品は組成・成分に示す通り珪藻質の天然鉱物が原料の製品である為、VOCの放散はない。
 - 2) 第三者機関による自主検査によって、チャンバー法による検査に於いて揮発性有機化学物質は含有せずとの判定を受けている。
 - 3) 本製品はセラミックスである為、建築基準法の規制対象外製品である。

- 10. 廃棄物の処理**
- ：本製品の切断破片、切断粉塵は一般的にはガラス、陶磁器くず又は建築廃材、不燃ゴミに該当する。産業廃棄物は廃棄物に関連する法律に基づき適切に処理をする。

- 11. 適用法令**
- ：労働安全衛生法、じん肺法

- 12. その他**
- ：施工時に於ける、接着剤については製造会社のデータを参照し、安全使用基準に従う事。尚、弊社で指定している施工用接着剤は（株）コニシMPX-1（シリコン系ノンホルマリン接着剤）である。

※ この情報は現在知り得る情報に基づき作成されています。その為、情報が更新されると、その情報に基づき改定する事があります。記載内容に於ける数値などに関しましては、保証数値ではありません。危険性、有害性については現時点で入手出来る資料に基づき作成しておりますが全てを網羅しているわけではありません。ご不明な点、その他の情報がございましたら弊社までご連絡を下さい。

鈴木産業株式会社